

犬の呼吸が変?

「逆くしゃみ」の可能性

問 2歳半の雄のポメラニアンを飼っています。最近、突然鼻を鳴らしてしばらく変な呼吸をします。窒息しないか心配です。病気でしょうか。

答 犬が突然、息を何度も吸い込みながら、ズーズーと鼻を鳴らす動作のことを「逆くしゃみ」と言います。通常は病気ではありません。

くしゃみは、空気が鼻孔を通して急速に押し出される現象を指しますが、逆くしゃ

みは、鼻孔から空気を急激かつ連続的に吸い込む発作性の呼吸です。まるでくしゃみを吸引しているかのように見えるため、この名があります。喉の奥の鼻咽頭尾端部と呼ばれる部分の粘膜に刺激が加わることで引き起こされる、しゃっくりと似た反応です。

通常は数秒から長くて1分の短時間で収まり、1日に何度も起きることもありますが、意識を失ったり、倒れたりすることは

ありません。チワワやポメラニアンなどの小型犬種、ブルドッグなどの短頭犬種のほか、キャバリアやビーグルにも多く、若齢時に発症しやすいともいわれます。

逆くしゃみが起きた時は、犬の鼻先に息を吹きかけたり、鼻先に水を付けた手のひらを当てたりすると、次第に落ち着きます。犬が鼻先に付いた水をなめて飲み込むために、一度呼吸を止めるためです。この時、

背中や胸を優しくなでてあげるのも効果的です。

ただし、太ってもいないのに逆くしゃみの呼吸音が大きくなったり、回数が増えたりしたら、異物や腫瘍、ポリープなどによる後鼻孔や鼻咽頭部の通過障害の可能性もあります。かかりつけの動物病院に相談してください。（早馬正人・県獣医師会員）

<月1回掲載します>

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。

